



第107回全国高等学校野球選手権大会神奈川大会出場時（一部メンバー）



野球部3年
GM（グラウンドマネージャー）
おちしんのすけ
越智 進之介さん
ポジション：センター

寮生活を送りながら、春の大会での悔しさを胸に夏へ力を付けるため、日々努力を重ねた進之介さん。チームとしてウエイトの見直しやフィジカル強化に取り組み、体格も大きく成長。「今までやってきたことを全て出し切る」「チームが勝つてほしい」一心で臨んだ夏の大会では、県ベスト4という歴代最高の成績を残しました。

この1年を振り返り、「仲間や周囲の応援があったからこそここまで戦えた。常に自分の役割を考えて行動できるようになった」と語った進之介さん。監督の志賀先生も「感情で動かずに自ら率先して行動ができ、仲間にも慕われる存在。最後に良いチームになった原動力は進之介にあった」と評価。

努力を惜しまず挑戦を続ける進之介さんと野球部の今後の活躍を応援しています。



松だるま

節目と感謝

残暑厳しい中、松田山のコキアが色づき始め、秋の訪れを感じる季節となりましたが皆さまお元気ですか？令和9年度から始まる第7次総合計画の策定が進んでおり、町民の皆さまからは、日常生活での課題や未来に向けた貴重なご意見・ご提案を多数いただきました。今後、幾つかの手順を踏んだ後、町総合計画審議会の答申を経て、議会からの議決をもって正式に決定する予定です。決定後は、多くの要望を実行するために必要な新たな予算確保が最重要課題となります。これまで同様に知恵と工夫を凝らし町民皆さまの夢や希望を「カタチ」として見えるよう精進してまいります。さて本年は、昭和100年、戦後80年、松田町・町村合併70周年を迎える節目の年です。特に戦後80年を

松田町長 本山 博幸

迎え、今なお核兵器の廃絶が進まず、世界の恒久平和を揺るがす世界情勢であり、我が国も対岸の火事ではないことを私たちは心に留める必要があります。こうした節目には、先人の皆さまが築いてきた歴史や文化を振り返り、感謝と敬意をもって受け継ぐことが大切であります。そして、新たに生まれた発想が、新しい歴史と文化を創ります。過去を尊び、今を生きる私たちが先人の皆さまへの感謝を忘れず、常に時代の変化に合わせて「進化し続けてきた歩み」を忘れてはなりません。これからさまざまな課題に立ち向かい「若い世代の力と発想」で誰もが安心して暮らせる持続可能な町を目指し、皆さまと共に歩んでまいります。まだ残暑が厳しい折、大切に「ご自愛ください」。